

令和5年度事業報告

1. 幼児体育指導者検定（認定試験）の策定・実施

幼児体育指導者検定（認定試験）は全体で1648名（プロフェッサー以上含む）であった。全会場98会場開催となった。

幼児体育指導者1・2級取得の一般会場認定試験として27会場において397人を対象に実施した。

認定校会場は、49会場において946人を対象に実施した。

幼児体育指導者3級取得の一般会場試験として11会場において114名を対象に実施した。

幼児体育指導者4・5級取得の一般会場認定試験として5会場において50人を対象に実施し、認定実施校会場は、6会場において134人を対象実施した。

資格・級付与者数は1,641名の内、1,536名で、各級の内訳は検定員3名、準検定員3名、プロフェッサーB1名、1級58人、2級1,204人、3級91名、4級118名、5級58名である。

資格・級未付与者（不合格・その他）は112名である。受験をしたが当協会の試験の基準に満たなかった者や途中で不参加になった者は不合格とし受験日当日欠席の連絡を受けた者や止むを得ない理由があり後日別会場へ受験を移動した者がその他としてある。

直接指導を行う2級以上の受験数が増え、1級以上の受験数が昨年度比で増加した。

合格率（降級も含め）は93.6%であり、昨年より7.7%上昇している。2級以上の受験参加型の合格率がアップしたことがその要因である。

区分や各会場の詳細は別紙に報告する。

2. 幼児体育健康教育講習会の実施

幼児体育健康教育講習会は、37会場（1会場中止）において742人を対象に実施した。昨年の1.3倍の参加になり、ここでの参加者は保育園や幼稚園の教職員が中心であった。復習動画の参加者限定配信や副教材等提供を行った。

区分や各会場の詳細は別紙に報告する。

II その他

1. ようたい教室は幼児体育健康教育講習会の一部として幼児体育指導者の資格会員の技能向上と、非会員ではあるが保育士・幼稚園教諭・スポーツ関連団体の教職員対象に即戦力として現場活用できる講習内容にプラスし、中長期的な指導力を養うため今年度も拡充して行っており、少人数の参加のため個人個人のニーズに配慮した講習ができた。要望や質問も多数あり、次年度の講習の課題となった。

2. 幼児体育健康教育講習会や幼児体育指導者検定でも「現場で活用できる種目」を講習演目内に入れユーチューブやSMS等へアップし紹介を図った。

1) 動画コンテンツの増加により、より多数の紹介ができることが今後の課題となったが、誰もができる。使いたくなる、演目から間口を広げることができた。

3. 通年、来年度の幼児体育指導者検定・幼児体育健康教育講習会開催の一般会場と認定校会場の予約や現場に赴いて行う研修指導等が多くなったとともに、各論や現場主義の講習演目が増える傾向になる個性差主流の演目と競争や数値で換算できる個人差主流の演目の2極化が見られた。

1) “あそび、主体のもの

2) 運動会種目や競技種目

3) 歌・音楽を通した運動あそびやリズム体操

4) 創作や自主性を重んじた演目

5) 理論に基づいた幼少年の指導

以上3) 4) 5) は恒常したニーズがあり、小学校・中学校・高校そして生涯教育に関する将来未来的な体力づくり、知育、幼児教育に不可欠であるが、まだ敬遠される傾向にあるため、啓蒙・宣伝・販促を含め行った。